

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。
 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、下記の通り、個人情報の加工を行いますので、加工される前の 2025 年 11 月 30 日までに参加拒否の申し出があった場合にのみ対象者から除外します。

研究課題名	上部消化管術後におけるビタミン B1 欠乏の検討 [倫理審査受付番号：第 5167 号]
研究責任者氏名	兵庫医科大学上部消化管外科 教授 篠原 尚
研究機関長名	兵庫医科大学 学長 鈴木敬一郎
研究期間	2025 年 10 月 16 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：食道癌・食道胃接合部癌・胃癌 / 診療科名等：上部消化管外科
	手術日：西暦 2017 年 4 月 1 日～2024 年 7 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報（診療の過程で取得） ☐ アンケート ☐ その他（ ）
研究目的・意義	上部消化管の術後には多くの栄養学的問題がみられますが、なかでもビタミン B1 欠乏は頻度は低いものの、重篤な神経症状を引き起こす可能性がある重要な合併症です。再建方法や飲酒習慣などの背景因子が、術後のビタミン B1 の代謝に影響を与える可能性が示唆されていますが、十分には解明されていません。 そこで、本研究では、上部消化管術後におけるビタミン B1 欠乏の発生率を明らかにし、関連する臨床背景因子を後方視的に検討します。 これにより、術後ビタミン B1 欠乏における発生予防が可能となります。
研究の方法	2017 年 4 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日までに兵庫医科大学上部消化管外科で手術を施行した食道癌、食道胃接合部癌、胃癌患者のうち、術後血中ビタミン B1 値が測定された 133 例を対象とします。 収集するデータは 2017 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までの情報とし、項目は、年齢、性別、体重、BMI、診断名、術式、術後合併症、術中出血量、手術時間、郭清範囲、臨床および病理組織学的病期分類、併存症、入院期間、術前および術後の生活状況、体重、ビタミン B1、B2、B12、アルブミン値など

	の術前後の血液検査を収集します。これらのデータから、術後ビタミン B1 欠乏の要因を検討します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。そのため、加工される前の 2025 年 11 月 30 日までに参加拒否の申し出があった場合にのみ対象者から除外します。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：兵庫医科大学病院 上部消化管外科 担当者氏名：石田善敬 [電話] 兵庫医科大学病院 上部消化管外科 医局 Tel：0798-45-6725（平日 午前 9 時～午後 5 時） 0798-45-6111（上記時間外）